



2025-2026 年度 RI 会長メッセージ 「よいことのために手を取りあおう」

GOVERNOR'S Monthly Letter



フランチェスコ・アレツツォ RI 会長と。

国際ロータリー第 2510 地区 2025-2026 年度ガバナー 玉井 清治

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西 11 丁目 4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail : rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>

ガバナー月信 vol.6 目次

ガバナー公式訪問報告



地区大会を終えて

函館亀田ロータリークラブ
2025-26 年度 地区大会副実行委員長

江頭 進

OTHER CONTENTS

■ ガバナーメッセージ	1p	■ ハイライトよねやま	16p
■ 地区大会を終えて	2p	■ コーディネーターNEWS	18p
■ ガバナー公式訪問例会報告	3p	■ 10月会員数・例会数報告	21p
■ 新会員のご紹介 / 計報	12p	■ 地区カレンダー 12月・1月	22p
■ 10月米山記念奨学会寄付・ロータリー財団	13p	■ 文庫通信 395号 / ガバナー事務所からお願ひ	23p
■ 2026年台北国際大会のご案内	14p		

今月の写真「留萌駅」



かつて北前船とニシン漁で栄え、世界三大波濤に名を刻んだ留萌。その威厳をまとった貫禄ある駅舎は廃駅後もなお、北海道の原風景と誇りを語り続けており、今も私たちの記憶に凜と立ち続けております。

(撮影日) 平成 17 年 5 月 5 日：玉井ガバナー



奉仕の原点、時代とともに一年の瀬に寄せて—

国際ロータリー第 2510 地区
2025-2026 年度 ガバナー

玉井 清治
(函館亀田 RC)

立冬を過ぎ、朝夕の空気は一段と冷たさを増し、街には年の瀬を迎える独特の気配が漂い始めています。函館でも冬の訪れを感じさせる風景が広がり、否応なく季節の移ろいを実感する頃となりました。

会長・幹事の皆さんにおかれましては、日々のクラブ運営と奉仕活動にご尽力されていることに、あらためて感謝と敬意を申し上げます。

7 月の就任から、私は地区内のクラブを訪問し、多くの会員の皆さんから温かく迎えていただきました。各クラブの歴史、地域性、メンバーの思いに触れることができたこの 5 ル月は、私にとって忘れない学びの連続でした。公式訪問の場では、皆さんの率直なお考え、クラブの未来への期待、そしてロータリーを良くしたいという真摯な声を直接伺うことができました。これら一つひとつが、私の心を奮い立たせ、ガバナーとして歩む力となっています。

そんな中、11 月 14 日に開催されました「第 4・第 5 グループ（札幌市内）合同会長・幹事会懇親会」にお招きいただきました。壇上では、各クラブ会長の皆さんから、公式訪問へのご感想や、函館で開催した地区大会への高い評価と温かいお言葉を頂戴し、胸が熱くなる思いで拝聴いたしました。地区大会を開催する側として、皆さんの声は何よりの励ましであり、これから活動に向けた大きな支えとなっております。

懇親会の 2 時間は驚くほど早く過ぎ、活気と笑顔に包まれた、本当に楽しく有意義なひとときでした。会長の皆さんの一言一言からは、クラブを良くしたい、地域に貢献したい、会員の未来をつくりたいという熱い思いが溢れしており、その姿勢に私自身強い感銘を受けました。

ガバナー就任から 5 か月。この間、地区の最重点課題である「会員増強」について、皆さんが真剣に取り組んでくださった結果、わずか 3 か月間で 52 名という驚異的な純増を達成することができました。これは、地区全体が一つの方向を向いて努力を重ねた、まぎれもない成果です。さらに女性比率は 8.9% と、日本の平均値である 7% を大きく上回る力強い数字を示しており、地区としての未来の広がりを強く感じています。

懇親会で皆さんの話を伺っていて、私は「まだまだ伸びる」という確信を新たに感じました。各クラブにはまだまだ成長の余地があり、それを支える情熱と行動力が確実に宿っています。この勢いを、ぜひ次のステージへつなげてまいりましょう。

そして、私たちの合言葉は！サインは V。

勝利への強い意志を象徴する Victory。
多様性を認め、価値観を共有する Values。
そして未来を描く力、Vision。

この 3 つの「V」を胸に、私たちはさらに力強く前へ進むことが



できます。どうかこれからも、クラブの発展のために変わらぬご支援とご尽力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

さて、12 月は国際ロータリーが掲げる「疾病予防と治療月間」です。ロータリーが長年取り組んできたポリオ根絶活動は、その象徴的な奉仕活動です。1985 年にポリオプラス・プログラムが始まって以来、世界中のロータリアンの情熱と献身により、患者数は 99% 以上減少し、ついに “ポリオのない世界” が目前に迫っています。

さらに、世界では依然として予防可能な疾病によって命を落とす人々が多く存在しています。安全な水の確保、衛生環境の整備、医療従事者の育成、ワクチンの普及など。その一つひとつにロータリーの支援が息づいています。海外奉仕に難しさを感じる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、まずは関心を寄せるここと、それこそが奉仕の第一歩であります。地区ロータリー財団委員会も、皆さんの取り組みを全力で後押ししてまいります。

近年、規定審議会ではクラブの裁量を尊重する方向で改定が進み、例会の形式や出席要件、会員資格など、クラブ運営の自由度が大きく広がりました。これは、クラブが自らのビジョンと責任をもって未来を切り拓く時代に入ったことを意味します。制度が変われど、ロータリーの原点である「奉仕の理想」を見失わないこと。これこそが、私たちが守るべき精神です。地区指針「リバイバル・原点回帰」に込めた思いを、皆さんとともに大切に育んでまいりたいと存じます。

一年の締めくくりにあたり、どうか皆さんが健やかに新年を迎えられますよう、心よりお祈り申し上げます。来年もまた、ともに歩み、ロータリーの新たな未来を創り上げてまいりましょう。



地区大会を終えて

函館亀田ロータリークラブ
2025-26年度 地区大会副実行委員長

江頭 進

2025-26 年度の地区大会は、北海道の広いエリアから多くの方々をお迎えするため、初日を午後 3 時開始にして移動負担を減らし、2日目にはお昼を食べてから帰れるようになります、参加者に配慮したプログラムの工夫を行いました。また、従来の形式にとらわれず、懇親を重視した新たな試みも取り入れ、参加者同士の絆を深める場を提供することができました。

まず初めに、中谷研一国際ロータリー理事エレクトご夫妻にご臨席をいただきましたこと、たいへん光栄に存じます。また、玉井清治ガバナーの念願でした第 2650 地区の刀根莊兵衛パストガバナーにご講演を賜りましたこと、参加者一同、大変有意義な学びの時間を過ごすことができました。心より感謝申し上げます。

もちろん、いくつかの反省点がありました。懇親会で名簿に記載漏れがありお食事が行き渡らなかつた方や、プログラム上で登録者名が抜けてしまつたことなど、至らない点がございました。これらの不手際について深くお詫びを申し上げます。今後はこの経験を踏まえ、より良い大会運営になるよう、引き継いでまいります。

それでも、経済ジャーナリスト須田慎一郎氏の講演や、星空の晩餐会での石野真子さんのパフォーマンス、津軽三味線の大演奏など、参加者の皆様にとって忘がたいひとときとなったことも確かです。また、全国からのガバナーの同期の方々や友好クラブの皆様、何と言っても地区内のクラブの皆様にご臨席いただき、喜んでいただけたことは大変意義深い大会となったと思っております。

皆様、本当にありがとうございました。



ガバナー公式訪問例会報告

苫小牧ロータリークラブ

8/1 (金)



2025年8月1日（金）ガバナー公式訪問として各行事が行われました。10時より苫小牧市役所にて「市長表敬訪問」として金澤俊苫小牧市長と7月30日の津波避難警報での対応や、開催中の苫小牧港まつりの話題など防災や地域活性のお話など懇談をいたしました。

表敬訪問終了後、例会会場のグランドホテルニュー王子に移動しまして10:30より会長・幹事懇談会を開催。玉井ガバナー、平田ガバナー補佐、当クラブ中原会長を中心に各地クラブの状況や会員増強の重要性、またハラスメントの問題などなど、踏み込んだ内容での意見交換をし、ガバナーより貴重なご意見を頂戴しました。その後会場を移動し11:30より「第2回クラブ協議会」を開催し各役員理事委員長より活動計画の発表を行いガバナーより講評をいただきました。

例会会場に入りまして講話をいただきまして、記念撮影を行い終了となりました。とても有意義な時間となり今後のクラブ活動に大変参考になりました。

札幌ロータリークラブ

9/3 (水)

9月3日（水）札幌RC第4415回例会を「ガバナー公式訪問例会」として札幌グランドホテルにて開催させていただきました。当日は玉井清治ガバナーをはじめ、池田和陽第4グループガバナー補佐、岩川信子地区代表幹事にもご出席いただきました。

当日は例会に先駆けて会長・幹事懇談会、クラブアッセンブリーを開催しました。クラブアッセンブリーでは、当クラブの理事・役員・各委員長25名が参加し、各委員会の今年度活動計画をご説明させていただくと共に、ガバナーよりご講評を賜りました。委員長からガバナーへの質問にも懇切丁寧にご助言いただき、終始和やかな雰囲気の中、大変有意義な機会となりました。

公式訪問例会では会員約90名が出席の下、玉井ガバナーより地区の取り組みや現状の課題、当クラブと地区との歴史の一端をお話しいただくと共に、今年度の地区大会への想いや設えについてもお話し下さいました。大変過密スケジュールにおいての玉井ガバナーの公式訪問に衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



ガバナー公式訪問例会報告

長万部ロータリークラブ

9/27(土)

9月27日(土) 玉井清治ガバナー、第10グループ堀田剛史ガバナー補佐、岩川信子地区代表幹事をお迎えして公式訪問例会が開催された。

16時00分：役場庁舎で、玉井ガバナーご一行をお迎えして、当クラブが役場庁舎前に寄贈した大理石の「町民頭彰碑」、ポケットパークの「花壇」を紹介。



16時30分：会長・幹事懇談会からは、丸金旅館を会場にして実施しました。武澤会長は所用で不在になりましたが、幹事から我がクラブの方針は「ロータリーを楽しもう、奉仕と親睦とて地域と共に」で、クラブの現状は9名の会員で、月2回の通常例会と月1回夜間例会を開催。また、ロータリー家族の交流は、春には「家族花見会」、暮れには「クリスマス家族会」を実施していると報告。多岐にわたっての懇談会となりました。

17時30分：クラブ協議会。今年度の活動計画では、会長の方針について各奉仕委員長から活動計画の報告があり、先輩達から築きあげてきた歴史を継承しながら多くの活動に取り組み実施している旨の報告がありました。

玉井ガバナーから、クラブ活動は会員の人数の多いクラブ、少ないクラブがありますが会員同士が奉仕と親睦等、仲良く楽しい活動を実施していることが大切です。また、ロータリー家族の交流も大切なことです。と激励を頂きました。

18時30分：ガバナー公式訪問例会は「第4562回夜間例会」で、玉井ガバナーは、卓話で活動方針「リバイバル原点回帰」～原点に立ち返り、未来への繁栄～未来に向けた行動指針を説明されました。今後のロータリー活動に活かしていこうと思います。例会も懇親会も終始和やかで楽しい会話が進み意義の深い時間を過ごしました。

最後に、玉井ガバナーを囲んで随行者の皆様と一緒に記念写真撮影し、ガバナー公式訪問例会は終了しました。ありがとうございました。

七飯ロータリークラブ

10/14(火)

2025年10月14日函館大沼プリンスホテルに玉井ガバナー、堀田ガバナー補佐をお招きました。

玉井ガバナーは七飯町出身で、とても親しい関係であり終始なごやかな雰囲気で進行しました。

16時30分より「会長・幹事懇談会」では会長・幹事・会長エレクト代理が出席し各クラブの共通の課題である会員増強について色々な提案、事例を提案やご指導をいただきました。

17時30分からは五大奉仕委員長に各委員会の活動を報告してもらい、長年継続して来たカレンダー市を社会福祉協議会へ移譲し新しい奉仕活動を行うことや、七飯町の特産であるりんごの木オーナー制度を利用した保育園児に収穫体験を通じて食への関心を高め健康的な食習慣を育てる活動、また国際交流の集いでは留学生たちにお琴の演奏を聴いてもらい、大沼グレートラン&ウォークへの協賛、給水活動への参加などを報告しました。

18時30分は、例会食事をしながら歓談し、ガバナーに総括をしていただきました。



ガバナー公式訪問例会報告

函館ロータリークラブ

10/16(木)

令和7年10月16日(木)、函館RC第4393回例会は玉井清治ガバナーの公式訪問でした。例会に先立ち、玉井ガバナーと、堀田剛史ガバナー補佐、岩川信子地区代表幹事と、当クラブ八十科淳会長、野口純平会長エレクト、小林正明幹事の6名で会長・幹事懇談会を行いました。話題は新会員獲得、退会防止から円滑なクラブ運営のための地区事務局と各クラブの関係性や関わり方など内容の濃い30分の懇談となりました。引き続き、玉井ガバナー、堀田ガバナー補佐、岩川地区代表幹事をお迎えして、本年度第3回のクラブアッセンブリーを開催しました(出席会員29名)。玉井ガバナー、堀田ガバナー補佐のご挨拶に続き、五大奉仕委員長から今年度の活動計画及び現時点での進捗状況を発表しました。玉井ガバナーからの講評では、多種多様な継続事業と新規事業が行われていることを評価して頂き、特に奨学委員会の活動については、独自の特色ある事業を継続的に行っている点や、環境保全委員会が地元の小学校、高文連、行政と協力して実施している点に高い評価を頂きました。記念撮影後の例会では、国際ロータリー財団より「End Polio Now: 歴史をつくるカウントダウン」キャンペーンの感謝状が届き、10月11~12日に開催された地区大会では「ガバナー特別表彰」「ロータリー米山記念奨学会3千万達成クラブ」を受賞した旨をご報告させて頂きました。卓話では、国際ロータリーの現状、現会長のテーマ、地区やガバナーの意義、役割などのご説明に続き、ガバナー方針について詳しくお話し頂きました。特に、ポリオや財団奨学生などロータリー財団の事業や、米山記念奨学会の活動の意義について詳しくご説明を頂き、財団と米山の寄付の重要性をお話し頂きました。全体として、ご自身の国内外での多彩なご経験に基づいた明確な価値観と意思をご提示頂くと同時に、ロータリー活動や第2510地区に対する熱い思いをお伝え頂き、会員一同感銘を受け、今後ロータリー活動に取り組む上での多くの示唆と、情熱を受け取ることができました。ご訪問に深く感謝するとともに、健康面にもご留意頂き、地区のため、ロータリーのために益々ご活躍下さいますことを祈念いたします。



ガバナー公式訪問例会報告

北斗ロータリークラブ

10/16(火)

「ガバナー・会長・幹事懇談会」

*玉井清治ガバナーより今年の重要な取組は、会員増強とのお話がありました。

具体的に、地区純増 140 名以上、新クラブの設立。

*ロータリー財団寄付は、150 ドル / 名も目標設定しております。

クラブの事情もありますので、あくまでも目標設定です。

*第 2510 地区の 1 クラブの平均会員数は、34 名です。

クラブの多い少ないは関係無く、どの様な活動をするかが重要です。

「クラブアッセンブリー」

玉井清治ガバナーからのご挨拶を頂き、小橋永吾会長の議事進行致しました。

*小橋永吾会長より 2025-2026 年度北斗 RC 会長テーマを報告

「思いを一つに、つなぐ奉仕の和」

- 1) 奉仕活動の充実と地域社会との連携
- 2) 地区委員会と各クラブの活性化と会員増強
- 3) 思いを一つに、つなぐ奉仕の和の実践

*米塚弘悦幹事より一般会務計画の報告

*クラブ奉仕委員長黒萩 裕委員長の代理で、米塚幹事代読

*職業奉仕委員長谷内 修委員長の報告

*社会奉仕委員長森濱重信委員長の報告

*青少年奉仕委員長新関一夫委員長の報告

*国際奉仕委員長佐々木智明委員長の報告

玉井清治ガバナーより 12 名の会員での「きっずアドベンチャーキャンプ」「防災マルシェ」現在災害対策等重要なとになっている中で大変重要な活動と公共イメージ向上の繋がりと大変重要な活動の実践を評価致します。 とのご意見を頂きました。

吉村昭夫ガバナー補佐より「きっずアドベンチャーキャンプ」の活動を見学いたしましたが、大変重要な活動で、是非来年もお声がけ頂ければとの大変嬉しいお話を頂きました。

「ガバナー公式訪例会」

小橋永吾会長の点鐘により例会がスタート致しました。

ロータリーソング「それでこそロータリー」唱和 / 四つのテスト唱和

国際ロータリー 2510 地区 玉井ガバナー紹介・吉村ガバナー補佐紹介

会長報告・委員会報告・幹事報告・出席報告・ニコニコボックス報告。

玉井ガバナーより国際ロータリーの目標、現状の報告をお話して頂きました。又、ロータリーカードを作成し各支払いに利用する事で、ポリオ根絶への寄付が出来ますので、是非ご協力宜しくお願い致しますとのお願いがありました。

小橋永吾会長の点鐘にて無事和氣あいあいの中、無事ガバナー公式訪問が終了致しました。



ガバナー公式訪問例会報告

洞爺湖ロータリークラブ

10/20(月)

先般 10 月 20 日にご来訪いただき、先ずは当洞爺湖町長を表敬訪問していただきました。その際、観光地でもある当町が抱えるオーバーツーリズムの問題、被災地でこれからも起こり得る有珠山噴火や避難の問題など、旅行業を営むガバナーとして有意義な意見交換をしていただきました。

特にガバナーは、町長がロータリークラブのメンバーであることの特異性を活かし、地域への奉仕活動の様々な展開をされることを期待しておりました。

クラブ協議会では、来訪日前日に行われたゴミ拾いに関して、ガバナー曰く実施されることはよいが、オーバーツーリズムの問題も絡めて、何故ゴミを捨てるのか？ゴミを捨てさせない為には如何したらよいか？等クラブ内でもって議論することが大事であると、ロータリー活動の原点のお話をいただき一同大変感銘を受けました。

懇親会例会も大変和やかな中、ガバナー令夫人にもご参加いただき盛会に終了いたしました。



函館セントラルロータリークラブ

10/21(火)

秋冷にして秋晴れのなか、国際ロータリー第 2510 地区玉井清治ガバナー、国際ロータリー第 2510 地区第 10 グループ担当堀田剛史ガバナー補佐、国際ロータリー第 2510 地区岩川信子地区代表幹事を函館国際ホテルにお迎えして、公式訪問が行われました。

10：30 会長・幹事懇談会、11：00 クラブ協議会、12：30 第 925 回例会というスケジュールでした。



□会長・幹事懇談会では、ガバナーより、地区に対しての現状と活動をお話しいただきました。主に地区をもっと利用して頂き、クラブ活性化に出前講座や講演依頼受付等も行っているので活用していただきたい旨の説明をうけました。ガバナー補佐からは、明年 3/14 (土) に行われる IM に先立って、新会員への勉強会（特に 3 年未満～5 年位）を計画していることや諸事諸活動を地方に分散化することにより新旧会員の参加と退会防止に繋げていけるということも伺いました。

□クラブ協議会では、各小委員会、五大奉仕委員会の発表をうけ、それぞれの委員会活動計画に対し、懇切丁寧に講評をいただきました。特に一つ一つの奉仕活動が実りあるものになっていることや会員増強そして退会防止への取り組み方も評価していただきました。これからも「原点を忘れずに活動していただきたい」という励ましのお言葉も頂戴いたしました。終了後、ガバナーを囲んで記念写真撮影、休憩を挟んで例会場へ。

拍手をもって、ガバナー・ガバナー補佐・地区代表幹事を迎え、例会が開かれました。

□第 925 回例会で玉井ガバナーは、講話として、當クラブへの過分なる評価を示され、ガバナーご自身の経験を踏まえてロータリアンとしての見識の深さや日々の諸活動が将来的には自己の成長に繋がるという持論を展開され、会員一同共感しつつ拝聴しました。

短い時間ではありましたが、今後は、会長・幹事会での提言やクラブ協議会での講評、例会での講話を肝に銘じ、引き続き奉仕活動を推進していくことを新たにしました。

玉井ガバナー、堀田ガバナー補佐、岩川地区代表幹事には、公式訪問誠に有難うございました。

ガバナー公式訪問例会報告

江差ロータリークラブ

10/21(火)

去る 10 月 21 日、玉井清治ガバナー、吉村昭夫ガバナー補佐をお迎えして公式訪問が行われました。

会長・幹事会では、ガバナーより「どのような事でも良いので、要望等ありませんでしょうか。」とのお言葉をいただき、会員増強に悩んでいますとお伝えすると、「オンライン会員、や江差に魅力を感じてくれる（ふるさと納税的つながりの）会員、3 年間お試し会員等、今の時代、色々な形の増強を考えてみてはどうでしょうか。」とのヒントをいただき、会員増強に前向きに取り組んでいくきっかけをいただきました。

クラブ協議会では地域の匠を表彰する職業奉仕事業やロータリーの森に実のなる木を植樹し、町民に還元している社会奉仕事業等の説明をさせていただき、「他クラブではまねのできない、地域に密着した素晴らしい事業ですね。」とのお言葉をいただきました。

例会では先日行われた地区大会オープニングの江差追分が素晴らしいことや 11 年前に廃線となった、江差駅舎の写真をガバナーがご趣味で撮影しており、それが次回のガバナー月信の表紙に採用されるとのお話をいたくなど、江差 RC を思っていただいている、温かいお人柄に触れながら、会員一同楽しい時間を共有する事ができました。

改めまして、この度は当クラブにご訪問いただき誠にありがとうございました。



伊達ロータリークラブ

10/28(火)

玉井清治ガバナー、川本康裕ガバナー補佐、菅原正明補佐幹事をお迎えして 10 月 28 日ガバナー公式訪問が行われました。当日は、朝 9 時半より伊達市堀井敬太市長を表敬訪問しました。

会長・幹事懇談会では、平口泰章会長や望月孝一会長エレクト、小野慎史幹事より、当クラブの現状や課題などをガバナーに相談させていただき、玉井ガバナーより多くのご意見やありがたい激励をいただきました。

クラブ協議会では、理事・委員長出席のもと各担当理事から各委員会の活動計画について説明がなされ、玉井ガバナーよりそれぞれの活動に対して懇切丁寧なご講評をいただきました。

例会では、玉井ガバナーよりとても有意義な卓話を伺い、最後に平口会長の謝辞で終了しました。

玉井ガバナーはじめ地区役員の皆様には、ご多忙中にもかかわらず、クラブ訪問をいただき、会員一同心から感謝申し上げます。

ありがとうございました。



ガバナー公式訪問例会報告

室蘭東ロータリークラブ

10/29 (水)

令和7年10月29日、当クラブは玉井清治ガバナー、川本康裕ガバナー補佐（室蘭北RC）、菅原正明ガバナー補佐幹事（室蘭北RC）をお迎えし、ガバナー公式訪問が開催されました。当クラブのガバナー公式訪問は当初、本年7月30日を予定しておりましたが、カムチャッカ半島地震による津波警報の発令により、急遽中止となり、上記の日程での開催となりました。

例会に先立ち、会長・幹事会においては、ガバナーから急な予定変更があったことについてのお話があり、クラブにおいても危機管理の重要性について再認識が必要だと感じました。その後のクラブ協議会においては、会長、幹事、各委員長に加え新入会員も加わり、クラブの活動計画の発表を行いました。ガバナーからは各委員会の活動計画に対し、個別に講評を頂く事が出来ました。

例会においてはガバナーの卓話を拝聴いたしました。今年度は会員増強一本で良く、との熱いメッセージを頂戴し、会員増強に対するヒントとなる事例をいくつか紹介して頂きました。ガバナーから直接お話して頂いた内容を、今後のクラブ運営に活用したいと思います。



函館五稜郭ロータリークラブ

10/31 (金)

10月31日（金）、新しい例会場所であるベルクラシック函館にて玉井清治ガバナー、吉村昭夫第11グループガバナー補佐、岩川信子地区代表幹事をお迎えして「会長・幹事懇談会」、「クラブアッセンブリー」、「歓迎例会」が行われました。

「会長・幹事懇談会」でガバナーより地区に対しての要望やクラブで抱えている諸問題などについてのヒヤリングがあり、クラブが抱えている問題についての助言を頂きました。

また、その後の「クラブアッセンブリー」ではクラブの活動計画の発表後、ガバナーより講評を頂きました。会員からの質問にも丁寧にお答え頂きまして当初の予定よりも長引き例会開始時間が遅れてしまうハプニングがありました。

「歓迎例会」でのガバナー卓話ではRI会長交代人事のお話から始まり、若いロータリアンとの意見交換の重要性、また入会3年未満の退会者が非常に多い実情など、とても有意義なお話をして頂き、最後には「函館五稜郭RCは模範的なクラブ」とこの上ないお褒めのお言葉も頂きました。

同じ函館地区出身のガバナーなので終始和やかにお時間を過ごせましたことこの場をお借りしましてお礼申し上げます。



ガバナー公式訪問例会報告

登別ロータリークラブ

10/30(木)

登別クラブの公式訪問は10月30日に、登別市役所への市長表敬訪問から始まりました。

玉井清治ガバナーと川本康裕ガバナー補佐、菅原正明ガバナー補佐幹事、八木橋俊輔会長が市役所を訪れ、小笠原春一登別市長と千葉浩樹副市長が応対され和やかに対談されました。

玉井ガバナーからは、この西胆振地域の第9グループはこうして行政への表敬訪問を必ず行いロータリークラブと行政の繋がりが非常に強く感じられると述べられました。そして、ロータリークラブは地域の皆さんに支えられ仕事をさせて頂いており感謝しておりますとお話しされました。小笠原市長からも登別RCの活動は登別市にとっても大変頼りになるとお話しをされました。

その後、市役所をあとにして例会場の登別商工会議所会館まで移動され会長・幹事懇談会がスタートしました。会長・幹事懇談会では、玉井ガバナーがクラブから地区への要望を尋ねられましたが八木橋会長からは、ガバナーという役職において時間の使い方と活動経費の捻出など大変な事ですねと尋ねられました。

その後のクラブ協議会では各委員会の活動を発表し、ガバナーからは今年度6名の会員が入会されたことはすごい、そして北海道登別明日中等教育学校の寄宿生と長年の交流事業を、すばらしい青少年奉仕活動をされていと講評を頂きました。また、国際奉仕活動と社会奉仕活動においても好評を頂き、クラブとして今後の活動に大変励みとなりました。

例会からは遠藤秀雄パストガバナーが出席され開会、食事の後セレモニーそして玉井ガバナーからの卓話をお願ひいたしました。卓話では、「Revival（リバイバル）～原点に立ち返り、未来への繁栄へ～」を中心に会員増強に重点においてお話しされ、地区内ロータリアンのつながりが会員増強につながると述べられました。また、国際ロータリーの現況と10月の地区大会は遠方から来られる会員のことを考えたスケジュールにしましたとお話がありました。

最後に記念撮影をして例会は終了いたしました。



以上で登別RCガバナー公式訪問の報告とさせていただきます。

玉井ガバナー、川本ガバナー補佐、菅原補佐幹事におかれましては大変お忙しい中でのご訪問、そして登別RCに対しまして今後の奉仕活動に大変励みになるお話を賜り御礼申し上げます。ありがとうございました。

よいことの
ために
手を取りあおう



ガバナー公式訪問例会報告

函館亀田ロータリークラブ

11/10(月)



2025年11月10日(月)、第2510地区 玉井清治ガバナーをお迎えし、函館亀田RCのガバナー公式訪問が行われました。会長・幹事懇談会では、当クラブの現状と課題について率直な意見交換が行われました。主な課題として、かつて50名を超えていた会員数が年々減少しており、会員増強が急務であることが挙げられました。また、若年層や女性会員の入会促進、例会出席率の向上、地域社会との連携強化など、クラブの活性化に向けた取り組みについても話し合いました。

玉井ガバナーからは、クラブの伝統を大切にしつつ、時代の変化に対応した柔軟な活動展開を進めるようご助言をいただきました。例会では、ガバナーの講話を通じてロータリーの基本理念を再確認し、奉仕の心を新たにする貴重な機会となりました。今後も地域に根ざした活動を通じて、より魅力あるクラブづくりに努めてまいります。



新会員のご紹介

(敬称略)

苫小牧 RC



高島 俊裕

令和 7 年 9 月 12 日
電気通信

留萌 RC



松平 義則

令和 7 年 10 月 1 日
建築材料卸売業

千歳 RC



竹花 雅之

令和 7 年 11 月 13 日
信用金庫

岩見沢 RC



菅井 清治

令和 7 年 11 月 20 日
電気供給

※入会順

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈りいたします。



会員氏名：横岡 孝一（函館五稜郭 RC）

逝去日：2025 年 10 月 7 日（享年 75 歳）

ロータリー歴： 2005 年 7 月入会

2011 - 12 年度 会 長

2014 - 15 年度 国際奉仕委員長

2021 - 22 年度 地区財務委員長

2023 - 24 年度 ガバナー補佐

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー (5)

米山功労者マルチプル (5)

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

砂川ＲＣ	俵谷　薰	会員	(1回)	10月30日
砂川ＲＣ	永森　直弘	会員	(2回)	10月30日
砂川ＲＣ	山崎　義彦	会員	(3回)	10月30日
伊達ＲＣ	栗橋　徳一	会員	(1回)	10月8日
室蘭北ＲＣ	小野寺浩二	会員	(1回)	10月27日
室蘭北ＲＣ	斉藤　聰	会員	(2回)	10月27日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

赤平ＲＣ	三上　洸二	会員	(1回)	10月3日
赤平ＲＣ	高江智和理	会員	(2回)	10月3日
砂川ＲＣ	松原　重俊	会員	(6回)	10月30日
江別ＲＣ	笹浪　哲雄	会員	(5回)	10月3日
岩内ＲＣ	吉田　栄治	会員	(3回)	10月2日
蘭越ＲＣ	佐藤　義久	会員	(5回)	10月2日
千歳ＲＣ	五十嵐桂一	会員	(2回)	10月31日
函館ＲＣ	鍵谷　和徳	会員	(1回)	10月30日
函館五稜郭ＲＣ	三上　吾朗	会員	(1回)	10月31日
函館五稜郭ＲＣ	窪田　良弘	会員	(7回)	10月31日

ポール・ハリス・フェロー

赤平ＲＣ	高橋　新作	会員	10月3日
滝川ＲＣ	川西　康弘	会員	10月27日
千歳ＲＣ	安達　正子	会員	10月31日
千歳ＲＣ	曙　嘉輝	会員	10月31日
千歳ＲＣ	井溪　利光	会員	10月31日
千歳ＲＣ	工藤　泰仙	会員	10月31日
千歳ＲＣ	太田千鶴子	会員	10月31日
函館ＲＣ	飯野　智子	会員	10月30日
函館ＲＣ	野口　純平	会員	10月30日

2026年台北国際大会のご案内



第 2510 地区
RI 国際大会推進委員長 (PG)
松浦 光紀

2026年6月13日(土)から17日(水)まで、台湾・台北にて国際大会が開催されます。世界中のロータリアンが一堂に会し、友情を深め、共に未来を語り合う場として、意義あるひとときを共有できるでしょう。開会式・全体会議をはじめ、多彩な公式プログラムや各種イベントが予定されています。

台北は歴史と文化が息づく国際都市です。魅力的な観光地、美味しい台湾料理など、訪れる人々を惹きつけてやみません。大会と併せて、台北の多彩な魅力を存分に味わっていただけます。

また、第 2510 地区では Regent Taipei Hotel にて「北海道ナイト」の開催を予定しており、皆さまとの絆をさらに深める特別なひとときとなるでしょう。

世界中のロータリアンが、皆さまと台北でお会いできる日を心より楽しみにしております。どうぞ皆さまをお誘いあわせのうえご参加ください。

お申込み締切

2025年12月25日(木)まで

日 程

2026年6月12日(金)～15日(月) 3泊4日

旅 費

お一人様 198,000円

＜旅行費用に含まれる内容＞

- 航空会社 エバー航空 エコノミークラス
- ホテル シェラトングランド台北ホテル 又は、同等クラス 2名1室利用 朝食付
- 専用車 1日目、4日目の空港～ホテル 往復送迎及、2日目・3日目の午前：ホテルから会場への移動
- 旅行手配料 予約手配、旅程管理費用

＜旅行費用に含まれない内容＞

- ・ 燃油空港諸税 26,000円 (2025年7月現在 ※変動あり)
- ・ 一人部屋利用料金 90,000円 ・ ビジネスクラス (その都度お見積りをさせていただきます)
- ・ 大会登録料 ・ RI 理事主催朝食会 ・ 北海道ナイト ・ オプショナルツアー (詳細は後日ご案内いたします)

【御取消条件】

国際大会の為、航空機及びホテルが非常に混み合い御取消条件が通常より非常に厳くなっています。ホテル代は12月1日より全額かかるために以下の通りとなります。何卒、ご理解くださりお申し込みください。

- お申込後～11月30日 無料
- 12月1日～1月31日 100,000円
- 2月1日～3月31日 120,000円
- 4月1日～5月29日 140,000円
- 5月30日～6月10日 160,000円
- 前日・当日 旅行費用全額

【企画協力】 地区 RI 国際大会推進委員会 実行委員会

【旅行手配】 (株) 産経海外旅行 札幌市中央区北1条西7丁目タキモトビル4階 担当 斎藤、矢田目
TEL 011-271-5388 FAX 011-271-5621 e メール : saito@sankeikaigai.jp

2026年台北国際大会日程表

日数	日付	都市名	時間	交通	スケジュール	食事
1	6月12日（金）	新千歳空港 発 台北（桃園）着	13:00 16:20	BR165 専用車	エバー航空にて台北（桃園）空港へ 到着後、ホテルへ 夕食：ご希望の方はお食事処へ（OP） ＜台北 泊＞	昼：機内
2	6月13日（土）			専用車	午前：台北南港展覧会（TaiNEX）にて 大会受付、友愛の家 午後：台北郊外、十分、九份見学（OP） ＜台北 泊＞	朝：○ 昼： 夕：
3	6月14日（日）			専用車	朝：RI理事主催朝食会（圓山大飯店） 終日：国際大会開会本会議（台北ドーム） 午後：台北市内、見学（OP） 夜：北海道ナイト Regent Taipei Hotel 内 4階 VIPルーム予定（人気の中華料理） ＜台北 泊＞	朝：○ 昼： 夕：
4	6月15日（月）	台北（桃園） 発 新千歳空港 着	10:10 16:20	専用車 BR116	ホテルより空港へ エバー航空にて新千歳空港へ	朝：○ 昼：機内 夕：

※上記スケジュールは 2025 年 8 月現在予定であり、交通機関、当地施設の都合、その他状況で変更になります。

お申込み・お問合せ

（株）産経海外旅行
札幌市中央区北1条西7丁目 タキモトビル4階

TEL：011-271-5388
FAX：011-271-5621
MAIL: saito@sankeikaigai.jp

（担当：斎藤、矢田目）



1 「歯磨きを習慣に」 モンゴルの学校に歯磨きコーナー設置

モンゴルのウランバートル市チングルテイ区にある第39番小学校と第72番小学校に「歯磨きコーナー」が新設され、開設セレモニーが10月6日に行われました。セレモニーには当財団の若林紀男理事長が出席しました。

モンゴルでは、子どもたちに歯磨きをする習慣が定着しておらず、多くの子どもが何らかの歯科疾患を抱えている現状があります。しかし、多くの学校では洗面台がトイレ内にしか設置されていないことが課題でした。そこで、モンゴル米山学友会主導で、トイレとは別の場所に「歯



磨き専用コーナー」を設けることで、子どもたちが歯磨きの習慣を身につけられる環境づくりを進めました。

また、第2610地区米山学友会が初の国際奉仕活動としてモンゴル

米山学友会と協働し、このプロジェクトを支援。13日に現地で開催されたセレモニーには、第2610地区学友会会長の範雋偉さん（2015-17／小矢部RC）が出席し、国を越えた学友会同士の交流が行われました。

今後はウランバートル市内の他の学校に歯磨きコーナーを設置する計画が進められています。

2 2026学年度奨学金申込み状況

10月15日に締め切りを迎えた2026学年度のロータリー米山記念奨学金（学部・修士・博士／地区奨励）には、指定校610キャンパス（前年度586キャンパス、地区を越えた指定校の重複含む）から1,364人（前年1,206人）が推薦されました。被推薦者の国・地域は、中国47.2%（51.4%）、ベトナム12.5%（11.9%）、韓国8.4%（9.3%）、ミャンマー4.6%（2.5%）、ネパール3.7%（3.6%）、インドネシア3.7%

（2.7%）で続いています。

課程別の応募状況は、博士課程15.5%（17.6%）、修士課程35.8%（37.6%）、学部課程45.7%（41.5%）となっており、2019年度以降、学部生の申込みが最も多い傾向にあります。なお、大学以外の教育機関を対象とする「地区奨励奨学金」には、8地区18校から計41人（7地区17校39人）の応募がありました。

3 国際交流授業で高校生の異文化理解促進

10月15日、第2750地区米山学友会が東京都立小平高等学校にて、2年生を対象とした国際交流授業を実施しました。

今回の授業には、9人の米山学友が講師として参加。2年生の9クラス、約320人の高校生に向けて、自国の歴史や文化、日本留学のきっかけ、現在の仕事などを紹介しました。登壇した中国出身



講師として参加した米山学友たち

の米山学友の一人は、「なぜ中国・江南地域の伝統的建築は白い壁に黒い瓦なのか」といったトピックを用意し、文化や言語、社会背景を交えて説明。生徒たちは熱心に耳を傾け、普段何気なく抱いていた疑問について質問し、異文化への理解を深める意義ある時間となりました。

4 | 寄付金速報 — 米山月間のご寄付に感謝！ —

前年同期比

-7.9%

普 -2.2% 特 -11.8%

10月までの寄付金は、前年同期と比べて7.9%減（普通寄付金：2.2%減、特別寄付金：11.8%減）、約4,200万円の減少となりま

した。大口寄付および会員数の減少が、特別寄付金の減少につながり、結果として全体の寄付額にも影響を及ぼしています。

今年も残り2ヶ月を切りました。引き続きご支援賜りますようよろしくお願ひいたします。

5 | 3人が紺綬褒章受章 2度目の受章者も

第2630地区（岐阜県・三重県）上野RCの丸山統正氏が、6月21日付で紺綬褒章飾版を受章しました。10月14日の同クラブ例会にて伝達式が行われ、当財団の若林紀男理事長から章記と飾版が伝達されました。丸山氏は2021年5月、当財団としては初となる紺綬褒章を受章され、今回が2度目。当財団への寄付で2度受賞されたのも丸山氏が初めてとなります。

また、第2680地区（兵庫県）芦屋RCの宮本一氏が7月30日付で、第2700地区（福岡県・長崎県・佐賀県）博多イブニングRCの小山田浩定氏が8月27日付で、それぞれ紺綬褒章を受章しました。

紺綬褒章は、公益のために私財を寄付し、そ



2度目の受章となった丸山氏(前列左から5番目)

の功績が顕著な個人または団体に対して天皇陛下より授与される褒章で、当財団は2018年9月に紺綬褒章の公益団体認定を受けています。受章された皆さんに、心よりお祝い申し上げます。

6 | 横のつながりを強化 「ロータリーユースの集い」開催

10月12日、第2790地区（千葉県）の地区大会に合わせて「地区大会ロータリーユースの集い」が開催され、同地区米山奨学生・学友36人のほか、青少年交換留学生、ROTEX、ローター・アクトなど、計80人が参加しました。このイベントは、ロータリーの新世代が横のつながりを築くことを目的に発足し、各プログラムに関する若い世代が一堂に会する貴重な機会です。当



日はアイスブレイクや懇親会を通じて活発な交流が行われ、互いの活動への理解を深めました。

参加した同地区米山学友会事務局長の蘇爾娜さん（2023-25／茂原RC）

は、「ロータリーで展開されている他のプログラムの若者同士が集い、さまざまな国籍や年齢の方々と交流できるこの場は、本当に意義深いものです」と語りました。

米山学友の顔

よねやま親善大使をお招きください

活躍する米山学友の代表として、当事業のあらましや自身の活動、ロータリーと交流し、学んだ経験が人生においてどのように生かされているか等をお話します。現在、第6代よねやま親善大使が活動中です。地区大会や米山セミナー、奨学生のオリエンテーションや歓送会等でのスピーチに、ぜひお招きください。

詳細は[こちら](#)





コーディネーター NEWS

2025年12月号 No.1

発行: Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第1地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 漆原 摂子（勝浦 RC）

PHS と PPS

PHS(ポール・ハリス・ソサエティ)とは、年次基金やポリオプラス基金等へ、毎年1,000 ドル以上をご支援くださる方への個人の認証で、世界 157 ケ国に 35,000 人の会員がいます。PHS 会員によるご寄付は、ロータリー財団全体の寄付総額の 21% 以上、またロータリー財団年次基金の寄付総額の 23% 以上を占めています。今年度日本では、各地区 10 名の増員を目標としていますので、是非クラブ会員の皆様へお声がけ下さい。

PPS(ポリオ・プラス・ソサエティ)は、PHS よりも少額-年間 100 ドルをポリオプラス基金へご支援くださる方への認証です。こちらも今年度の日本の目標値は、各地区 50 名の増員です。PPS の登録は、各地区で取り纏めとなっており、根絶まであと少しのために、併せてご協力をお願い申し上げます。



恒久基金

年次基金が今日のロータリー活動を支える基本的なご寄付ならば、恒久基金へのご寄付は、未来において持続可能なプロジェクト実施のための財源です。恒久基金は投資され、元本が支出されることはなく、収益の一部が活動資金となり、恒久的な支援となります。

今年の決議審議会で、「恒久基金に寄付した人をポール・ハリス・ソサエティ入会の対象とすることを検討するよう管理委員会に要請する件」が採択されました。今まで恒久基金への 1,000 ドル以上のご寄付は、ベネファクターという認証はございましたが、PHS 入会の対象外でした。今般の決議審議会の採択を受け、改めて管理委員会にて討議され、承認されますことを期待致します。

AGO 近藤かおり氏

国際ロータリー日本事務局財団室の AGO(寄付推進オフィサー)近藤かおり氏をご存じでしょうか？ロータリー財団のエキスパートで、地域毎の地区財団委員長会議などで、財団に関するレクチャーをいただいております。毎回感じるのは、我々ロータリアンとはまた視点の異なる分析やコメントをいただけることです。私が所属する第 2790 地区でも、今年 9 月に開催されたロータリー財団セミナーで、近藤氏を講師として招聘し、地区内会員へ向けプレゼンテーションを実施していただきました。地区内会員からは、マンネリとなりがちな地区セミナーが変わり、新鮮で良かった、大変勉強になったとお声をいただいております。皆様の地区におかれましても、近藤氏によるプレゼンテーションを推奨致します。



コーディネーター NEWS

2025年12月号 No.2

発行: Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

美味しい、楽しい、優しい 台北国際大会 — All Japan で一万人の笑顔を！

第2地域 台北国際大会推進チーム 吉川 公章（名古屋南RC）

2026年ロータリー国際大会は、6月13日(土)～17日(水)、台北ドームをメイン会場として開催されます。RI 台北国際大会推進コーディネーター・出村知佳子さん(札幌北RC)を中心に、日本地区チームが力を合わせて準備を進めています。日本からの参加目標は1万人。台湾は日本から近く、多くのクラブが友好関係を築く“心の距離の近い国”です。豊かな文化、美味しい食、温かな人々、そのすべてが私たちを優しく迎えてくれるでしょう。



① 主なプログラム

6月14日(日) 開会式(午前・午後の2回の予定)

6月15・16日(月・火) 全体会議(午前) 6月17日(水) 閉会式(午後)

さらに、恒例のRI理事主催親善朝食会も開催予定です。

日時:6月14日(日)午前7時～ 会場:圓山大飯店(Grand Hotel Taipei)12階

朝の台北を一望、美味しい朝食をとりながら国際的な交流の輪が広がります。

② 登録状況と早期登録のおすすめ

11月3日時点の登録者数は全世界で31,130人、そのうち台湾22,918人、日本1,686人。日本は現在第3位ですが、「台湾に次ぐ登録者数10,000人」を目指しています。

登録料は早期割引が適用されます:

12月15日まで475ドル、2026年3月31日まで575ドル、4月以降 675ドル

30歳以下のクラブ会員・会員以外の方および同伴者には、さらにお得な特別料金が設定されています。ぜひ My Rotary から早めの登録を！

大会登録はこちら →

<https://convention.rotary.org/ja>



③ 国際大会に参加する意義

国際大会は、刺激・鼓舞・激励・情報共有の場であり、ロータリーの戦略目標を推進するための重要なフォーラムです。世界中のロータリー会員が一堂に会し、国境を超えた友情を育む貴重な体験ができます。参加した会員は「ロータリーの一員である喜び」を改めて実感し、退会率が低下する傾向があることも報告されています。クラブの仲間、ご家族、そしてロータリー未会員の友人にもぜひ声をかけ、台北ドームを日本の笑顔で満たしましょう！

④ 日本地区チーム紹介 日本地区的コーディネーターチームは以下の3名です:

- 第1地域: 岡村 瞳美(2770地区・川口RC)
- 第2地域: 吉川 公章(2760地区・名古屋南RC)
- 第3地域: 大橋 秀典(2660地区・東大阪東RC)

All Japanの力を結集し、「美味しい・楽しい・優しい」台北で、友情と奉仕の輪をさらに広げましょう。台北でお会いしましょう！



コーディネーター
NEWS 2025年12月号 No.3

発行: Region 1, 2 & 3
RMC, RPIC, RRFC, E/MGA, EPNC
行動計画推進リーダー
国際大会推進チーム

第3地域 ロータリー会員増強コーディネーター補佐 延原 健二 (大阪大淀RC)

ロータリーの最重要課題は会員増強であり、そのためには、クラブ活性化が必要です。

伸び続けていた世界のロータリー会員数は、2000年前後をピークに減少に転じます。

規定審議会において、2016年には「柔軟性」をキーワードに例会と出席、会員身分に柔軟性を認め、2019年には「さらなる柔軟性と革新性」を標榜し職業分類の制限廃止が決まりました。従来のロータリーを尊重しつつ、時代に即した組織として発展・進化を目指す決定でした。



■このような背景から生まれたのが「Action Plan(行動計画)」です。

RIは明確なビジョンを定めて(ビジョン声明)、それに向けての4つの優先事項を設けました。RIが定めた単年度の具体的目標に対して、各クラブに数値で目標を設定するように求めた点(数値化)に革新性がみられます。自クラブの目標を明確にすることにより、モチベーションの向上と評価の客観化を可能としました。

■「3-year rolling goals」

Action Planの考え方の基、継続性、単純化、柔軟性が加味されました。

継続性:目標設定を単年度から3年先までに

単純化:重点目標項目を6項目へ(従来の13項目も併存)

柔軟性:毎年(定期的に)目標を見直し更新する

「3-year rolling goals」は、クラブの未来(3年先)を考える仕組みです。

■「クラブサポートミーティング」

クラブに定期的に目標項目の数値入力をお願いして、その時点での目標達成度を可視化し、クラブの抱える悩みや問題点をクラブ間で共有します。さらに、ガバナーからクラブの悩みや問題点に対するアドバイスやサポートを得る制度です。「クラブサポートミーティング」はクラブの現状を見つめる制度です。この制度は3段階のミーティングから成ります。

① 招聘者:ガバナー、対象者:クラブ会長

② 招聘者:地域リーダー、対象者:ガバナー

③ 招聘者:RI理事、対象者:地域リーダー

RI理事と地区・クラブとの橋渡し役である地域リーダーを機能的に活用した制度でもあります。

■「3-year rolling goals」と「クラブサポートミーティング」、2つの制度を活用してクラブ活性化を図り会員増強に繋げましょう!

3-year rolling goals + クラブサポートミーティング

クラブの未来を考える

クラブの現状を見つめる



クラブ活性化、会員増強

10月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2025.7.1	2025.10.31	増減	内女性
1	深川	3	28	30	2	2
	幌	3	33	32	-1	2
	留萌	5	22	23	1	4
	小計		83	85	2	8
2	赤平	2	20	19	-1	3
	芦別	2	27	27	0	1
	砂川	4	41	41	0	2
	滝川	2	82	82	0	7
	小計		170	169	-1	13
3	美唄	4	21	20	-1	2
	江別	4	32	34	2	2
	江別西	2	31	29	-2	1
	岩見沢	4	89	94	5	2
	岩見沢東	2	9	9	0	0
	栗沢	2	13	13	0	0
	栗山	3	22	23	1	4
	当別	3	27	27	0	3
	小計		244	249	5	14
4	札幌幌	4	105	127	22	4
	札幌はまなす	3	27	28	1	3
	札幌北	2	31	31	0	5
	札幌モーニング	4	34	34	0	0
	札幌西	3	44	45	1	8
	札幌西北	4	28	27	-1	4
	札幌手稲	3	31	31	0	3
	小計		300	323	23	27
5	札幌東	3	95	99	4	3
	札幌清田	2	9	9	0	3
	札幌幌南	4	59	62	3	6
	札幌真駒内	3	18	18	0	5
	札幌南	3	74	74	0	4
	札幌大通公園	2	13	13	0	3
	札幌ライラック	2	11	11	0	1
	新札幌	4	19	20	1	5
	小計		298	306	8	30
6	岩内	4	30	30	0	1
	俱知安	2	34	34	0	4
	小樽	4	73	73	0	5
	小樽南	3	49	51	2	5
	小樽錢函	3	10	10	0	1
	蘭越	4	7	7	0	0
	余市	4	38	38	0	4
	小計		241	243	2	20

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数 18名（内女性会員1名）を含む

※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数 3名（内女性会員1名）を含む

※函館五稜郭RCには五稜郭すずらんロータリー衛星クラブの会員数 7名（内女性会員0名）を含む

10月会員増減数

クラブ数	67
期首会員数	2,249人
当月末会員数(女性)	2,307人(201人)
増加会員数	58人

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2025.7.1	2025.10.31	増減	内女性
7	千歳	4	78	77	-1	11
	千歳セントラル	3	41	41	0	9
	恵庭	4	41	44	3	4
	北広島	3	18	18	0	2
	長沼	3	16	16	0	3
	小計		194	196	2	29
8	えりも	2	16	15	-1	1
	三石	3	10	10	0	0
	様似	3	5	5	0	1
	静内	4	55	54	-1	5
	浦河	2	21	22	1	3
	小計		107	106	-1	10
9	伊達	3	53	53	0	2
	室蘭	2	26	27	1	4
	室蘭東	4	29	29	0	2
	室蘭北	3	45	46	1	1
	登別	4	31	30	-1	2
	洞爺湖	2	11	11	0	1
10	小計		195	196	1	12
	函館	4	66	68	2	5
	函館亀田	3	29	29	0	3
	森	2	30	32	2	2
	七飯	4	14	14	0	0
	長万部	3	9	9	0	0
11	函館セントラル	4	26	26	0	2
	小計		174	178	4	12
	江差	2	10	10	0	0
	函館五稜郭	3	46	53	7	2
	函館東	3	32	35	3	5
	北斗	4	12	12	0	0
12	小計		100	110	10	7
	白老	3	28	30	2	4
	苦小牧	4	57	59	2	4
	苦小牧東	4	30	29	-1	9
	苦小牧北	3	28	28	0	2
	小計		143	146	3	19
	合計		2,249	2,307	58	201

地区カレンダー 12月・1月

12月 疾病予防と治療月間	
1 (月)	
2 (火)	
3 (水)	
4 (木)	
5 (金)	
6 (土)	
7 (日)	2026学年度米山奨学生選考試験(札幌)
8 (月)	
9 (火)	
10 (水)	
11 (木)	
12 (金)	
13 (土)	
14 (日)	
15 (月)	
16 (火)	
17 (水)	
18 (木)	
19 (金)	
20 (土)	
21 (日)	
22 (月)	
23 (火)	
24 (水)	
25 (木)	
26 (金)	
27 (土)	
28 (日)	
29 (月)	
30 (火)	
31 (水)	

1月 職業奉仕月間	
1 (木)	元旦
2 (金)	
3 (土)	
4 (日)	
5 (月)	
6 (火)	
7 (水)	
8 (木)	
9 (金)	
10 (土)	
11 (日)	~15日(木)国際協議会(アメリカ・オーランド)
12 (月)	成人の日
13 (火)	
14 (水)	
15 (木)	
16 (金)	
17 (土)	
18 (日)	
19 (月)	
20 (火)	
21 (水)	
22 (木)	
23 (金)	
24 (土)	ガバナー補佐会議(函館)
25 (日)	
26 (月)	
27 (火)	
28 (水)	
29 (木)	
30 (金)	
31 (土)	ロータリーフェローズワークショップ(札幌)

文庫通信

Rotary Clubs of Japan Japan Rotary Clubs Library

ホーム 検索 利用案内 よくある質問 文庫について

HOME Search Information FAQ About us

文庫通信 395号
ロータリー文庫

文庫通信 395号：会員研修 ロータリーについて 講演・月信より

「What is Rotary? ガイガンドィガーから学ぶロータリー 2025年4月増補改訂13版」鈴木一作/D.2840/71P
 「新会員研修会資料」 大賀茂功/D.2700/ロータリー情報委員会/79P
 「今、ロータリーを考える」 刀根莊兵衛/D.2600 地区大会報告書/7P
 「ロータリーの変化と行動」 野口英一/37P/7395-4
 「わかりやすいロータリー財団テキスト」 D.2580 地区大会報告書/9P
 「ロータリーの豆知識 月信抜粋」 D.2530/17P
 「私のロータリー」 土屋亮平/D.2790/4P
 「慈愛の種をロータリーの「内向きの奉仕」にも播こう！」 小林博/D.2510/3P

PDFの閲覧には「ユーザー名」「パスワード」が必要です。ご不明の場合は、各事務所またはロータリー文庫にお問い合わせください。

〒105-0013 東京都港区浜松町2丁目7番16号 第3小森谷ビル別館6階
TEL:03(3433)6456、FAX:03(3459)7506

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの例会数・会員数報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へFAXかメールにて提出するようお願い致します。

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。

新しく会員が入会された時は写真を添付の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。

地区ホームページ⇒例会変更フォームの順でアクセスできます。

(ホームページにアクセスが難しい場合はFAX、メールでお送り下さい)

4. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月5日です。(メールでのご連絡にご協力ください)